児童発達支援自己評価表

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月25日　　事業所名　大津市立東部子ども療育センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・今年度は施設拡張工事のため、園庭が使用できない時期もあったが、毎日の朝礼時に綿密な打ち合わせを行い、十分な活動量が保障できるようにしてきた。工事終了後は、新しい遊戯室や広くなった園庭でのあそびを楽しむことができた。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・各クラス、子どもの動きや興味に合わせた環境設定を工夫している。 ・整理整頓に努め、動きやすく視覚的にもわかりやすい生活空間づくりに努めている。	・床面は堅い素材であるので、ペフやマットを用い、引き続き転倒時にはケガに繋がらないよう安全面に十分な配慮を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・定時に消毒液を用いて、清拭を行っている。 ・見通しが持ちやすいよう動線を考慮したり、気持ちが向いたときに遊びだせるように斜面台を常設したりするなど、室内環境を工夫している。 ・毎月1日と15日には安全点検を実施し、安全面に配慮している。	・日々の清掃と消毒、特に感染症流行期には回数や方法の見直しなどに、日々努めていくようにする。 ・床暖房がない部屋は、冬季は床から冷えてくる。低年齢児には床暖房が効果的であり、設置が望ましい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・全職員が委員会（学習、食事、健康安全、園芸）や運営委員会（リーダー会議）等に分担して参画し、定期的に業務についての振り返りと改善を実施している。また、月案検討会議、個人別目標会議や総括会議など職員全員が会議に参加し、業務改善に繋ぐための話し合いを行っている。 ・インシデントやヒヤリハット等の事例について共有している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・独自のアンケートを実施し、行事の都度に感想を伺うなどして、保護者の声を聴き、保護者の意向を踏まえて職員間で業務改善を話し合っている。 ・保護者からの意見や要望はすぐに共有し、利用者目線に立つことに心がけ、様々な立場からの意見を出し合い対応するようにしている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者向け評価結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行い、その結果を保護者に知らせるとともにホームページでも広く公開している。	・自己評価、保護者評価の結果を踏まえ、次年度の課題としていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・苦情解決連絡協議会、虐待防止検討委員会等で第三者による評価を受けている。	・他所の改善策を参考に、取り入れるとよいことは取り入れて、より良くしていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・学習委員会で職場のニーズを把握し、年間計画を立て、計画的に学習の場を設けている。 ・オンライン研修の機会が一層増えてきたことで、時間を効率的に活用しより多くの職員の研修機会が持てるようになった。 ・研修受講票を活用し、各人がキャリアアッププランを持ちながら外部研修に参加するようにしている。	・オンライン研修が受講できる環境の充実を進めていく。 ・自己研鑽し個々の職員のステップアップに努める。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・クラス担任、児童発達管理責任者、発達相談員が参加し、子どものことを理解できるよう、定期的な会議で情報を出し合い指導計画の作成や見直しを行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・発達相談を年2回実施し、一人一人を発達の視点から把握し、子ども理解に努め、療育課題を明確にしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・「発達支援」では、生活と遊びを通じて様々な体験を積み重ねながら人との丁寧な関わりと手応えをつかめる生活作りを、「家族支援」では家族全体の生活に視点を置いた支援を、「地域支援」では地域の保育所等との連携や卒所後の支援等、具体的に支援内容を設定している。記入にあたっては職員の学習会を実施している。	・支援内容の質の向上を恒常的に目指す。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・定期的にアセスメント会議を行い、児童発達支援計画に沿った支援が行われているか計画の見直しも行いながら進めている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・複数配置のクラス保育士で定期的に会議を行い、子どもの様子に合わせた活動内容の計画、反省、改善をしている。また、クラスの代表が参加し行事の内容を検討したり、次月の計画を他クラス職員で検討したりする場も設けている。 ・必要に応じ、園長・児発管・発達相談員が加わった会議で協議している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・時々の子どもの興味、保護者からの感想やアンケートから、内容を検討し、繰り返し楽しめる活動内容を工夫している。	・市内の三療育が交流研修や交流学習や他市町の実践通して、子どもが主体となって、「おもしろい」「もっとしたい」等主体的に遊ぶ環境や関わりについて実践検討を行い、療育の充実を目指す。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・一人一人の興味や姿に合わせ、発達要求を捉えながら支援計画を検討している。 ・クラス活動においても集団活動と個別活動を適宜組み合わせている。 ・クラス間交流も実施している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎日支援開始前に朝礼を行い、その日の活動内容や子どもとその家族に関わる連絡事項等を職員間で共有している。また療育前にクラス内で活動の詳細や担当に関する打ち合わせも行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後には、クラス間で振り返りを行い、その日の反省を記録に残し、次の活動にいかすようにしている。その他の職員にも共有しておくべきことは、朝礼の場でタイムリーに共有できるようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・必ず支援に関する記録を毎日個別に残し、次の支援の手立てにつながるようにしている。	
関係機	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的にモニタリングを行い、クラス担当と児童発達支援管理責任者とが共有し療育内容や、支援計画に反映させている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者、クラス担当保育士、施設管理者などが相談支援専門員との連携をとっている。	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・すこやか相談所や地域の保育園、幼稚園、こども園、関係機関とは必要に応じて迅速に連携している。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし			・令和6年度からは、医療ケアを必要とする子どもや重症心身障害のある子どもの支援を実施する。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし			・令和6年度からは、医療ケアを必要とする子どもや重症心身障害のある子どもの支援を実施する。
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・文書と療育見学による引継ぎを行なっている。 ・就園時の滑らかな接続を目指し、全ての利用児に対して卒所児訪問を行い、移行支援を行っている。	・支援内容の情報共有と、相互理解を図ることを目的として園訪問や卒所後フォロー相談を実施し、必要に応じて回数を重ねるなどの充実を図っていきたい。そのための体制作りが必要であると考える。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	該当なし			・今後、当センターにおいて該当する子どもがいる場合の移行支援について具体的に検討していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・大津市内3か所にある公立の児童発達支援センターと事業所、また滋賀県障害児地域療育連絡協議会で共に学びあう研修の場を持っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・隣接する保育所の4歳児と一緒に活動する機会をもっている。	・今年度は施設拡張工事が行われたので後半期にしか交流の機会を持つことができなかった。来年度からは、子どもの様子に応じてもう少し早い時期からの交流を計画していきたい。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・自立支援協議会子ども部会や地域の子育てネットワーク会議に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・週２回の親子保育では子どもの姿の共有や大事にしたい関わりの相談、定期的なクラス懇談や個別懇談会を行っている。また日常的にも保護者が相談しやすい雰囲気づくりや積極的なコミュニケーション、個人ファイルによる双方向の連絡を行っている。	・連絡漏れや十分な説明ができていないこともあり、その都度伝え方などについて確認や検討をした。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・発達、言葉、子育て講座などを保護者の様子に合わせて取り入れている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・入所前の「重要事項説明書」による説明や入所後の「オリエンテーション」で文書を用いて説明している。 ・運営規程についてはいつでも見ていただけるように保護者室にファイルを置いている。	・丁寧な説明を心がけるとともに、保護者の目にとまりやすいように掲示するなど工夫していきたい。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・わかりやすい説明を心がけながら保護者に開示し、ご意見を取り入れて計画に反映させて支援を進めている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・定期的な発達相談・個別懇談の機会以外に、随時相談に応じ、必要に応じて専門職との相談に繋げられるようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	該当なし		・父母の会はないが、卒園児の親が交流できるOB会が組織されており、利用年度を越えた保護者間交流が行われている。	・OB会を運営していく担い手が必要であり、一部の保護者の負担とならないよう、自主的な運営を尊重しつつ、継続していけるよう協力・支援を行う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・利用児保護者からの相談や申し入れに即時対応し、安心して相談できる関係づくりに努めている。	・保護者が相談や申し入れをしやすい雰囲気や環境づくりにさらに努力する。

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・園だより、クラスだより、保護者宛文書により、行事案内、連絡、勧奨等、保護者にその都度迅速に伝えている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報の取扱いについて、確認文書を取り交わしている。 ・定期的に全職員で個人情報の取り扱いについて確認したり、研修に積極的に参加したりしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・ことばでのやり取りだけでなく、子どもの表情、しぐさ、その子どものサイン、発声など総合的にコミュニケーションしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・通信やホームページでセンターの様子や取り組みを発信している。	・ホームページについては、より見やすくわかりやすいものとなるように努めていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・非常災害時の対応について、保護者を対象に年度の早い時期にオリエンテーションを行い、家庭に掲示できるお知らせを配布している。 ・職員については、マニュアルの理解と行動に移せるよう学習会を実施し、全職員が対応できるように学習の場を設けている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・火災、水害、地震、不審者を想定し、毎月19日前後に定期的な避難訓練を行っている。年間計画の中で保護者が参加する機会もつくり訓練内容を共有している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・保健担当（看護師）とともに状況の聞き取りを行い、全職員に周知している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・職員による人的ミスを起こさぬよう、食物アレルギー対応マニュアルに則して適切に対応している。 ・食事委員会（保健担当、保育士、調理担当）を中心に食物アレルギーの対応をしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット事例を即日報告書に作成し、翌日の朝礼で職員全員に口頭周知の上、報告書回覧を行い、再発防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止マニュアル、人権擁護のためのセルフチェックリストなどを活用し職員の人権意識の向上に努めている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	該当なし			

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月25日

保護者等数（児童数） 18（18） 回収数 17 割合 94%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見（原文掲載）	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	0	記載なし	・園舎の拡張工事の期間中は園庭が使えず、廊下のスペースを活用したり保育室内の活動を工夫したりしてきました。ご理解とご協力ありがとうございました。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	0	記載なし	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	0	0	0	記載なし	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	0	0	0	記載なし	・引き続き衛生管理に努めていきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	0	0	0	記載なし	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	2	記載なし	・支援の内容は保護者の方にとってわかりやすいく具体的なものにしていくように努めていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	1	0	0	記載なし	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	1	0	1	記載なし	・子どもにとって経験してほしい活動内容に繰り返し取り組んでいます。活動内容は、子どもの姿に合わせて、クラス担任が話し合って計画しており、既成のプログラムはありません。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	7	2	記載なし	・隣接する保育園の4歳児との交流は拡張工事後に3回実施しました。 ・交流の様子はおたよりなどで他のクラスにもお伝えできるようにしていきます。
保護者への説明	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1	0	0	記載なし	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	0	0	0	記載なし	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	17	0	0	0	記載なし	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	0	0	記載なし	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	0	0	0	記載なし	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	0	0	2	記載なし	・

等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	1	0	0	記載なし	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0	記載なし	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	1	0	3	記載なし	・今後もわかりやすい説明、情報提供に努め、発信方法をより工夫していきます。 ・自己評価の結果を配布するとともにホームページに掲載します。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	0	0	0	記載なし	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1	0	2	記載なし	・各マニュアルに則して職員が学習する機会や訓練を設けています。保護者の方にもわかりやすい説明に努めていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	0	0	1	記載なし	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	2	0	0	記載なし	
	23	事業所の支援に満足しているか	15	1	0	1	記載なし	・引き続き、お子さんと保護者さんにとって安心して通える場所、登園したら楽しく過ごせる場所となるよう、さらに活動内容を工夫して参ります。